



祝! 合唱部金賞受賞「熊本県合唱コンクール」

昨日4日(日)は、合唱部が熊本県合唱コンクールに参加しました。この大会は、小学校から中学、高校、大学・職場・一般部門に分かれていて、参加団体は42もある大きな大会でした。また、九州合唱コンクール熊本県大会も兼ねていて、合唱部は見事金賞を受賞し、九州大会出場も達成しました。



大会前の練習風景

私も県立劇場に応援に出かけましたが、帯西の合唱部の子供たちは、会場の雰囲気にもまれることなく、堂々と入場してきました。力田先生の指揮の手が拳がると、子供たちは課題曲である「一番始めは」を歌い始めました。「一番始めは 一宮 ♪…」これは、ずっと昔から歌い継がれてきた手まり歌・お手玉歌のひとつです。子供たちも無伴奏でリズムカルに歌い、会場の雰囲気を味方につけたような気がしました。2曲目は自由曲の「歌のはじまり」を歌いました。歌詞の「歌は人と人との出会いから生まれてくるのだ…」からは、子供たちそれぞれが曲想を感じ、歌詞を味わいながら歌っていることがわかりました。ある子供は、表情豊かに歌い、ある子供は体を揺らしながら歌い、楽曲の中に入り込んでいきます。部員も40人以上に増えた合唱部ですが、人数が多ければ多いほど、息を合わせることが難しくなっていきます。それを夏の暑い最中、汗を流しながら練習に励み、心を一つにしながらか表現していきました。合唱に励んでいると、歌詞の意味の解釈について様々な捉え方があり、仲間と共に考えさせられることがあると思います。それを仲間と共にイメージを共有しながら歌うからこそ、聴いている人たちへ何かを訴えかけることができるのです。今回も、歌の素晴らしさに大きな感動を味わうことができました。審査員の方の講評にも「小さい方が混在していることがむしろ皆さんの持ち味! 可愛いだけでなく、しっかりとコントロールできていて凄い! 音楽の流れもとても有効。よくここまで仕上げましたね。先生の細やかなご指導に皆さんが応えたこと、ピアノの先生とも一緒に感動的な演奏を創っていただきました。先生の指揮もとても整理されていて素敵でした。ありがとう!!」とあり、ここからも心を動かす演奏であったことが推し量れます。

九州大会への切符も手にしましたので、練習はさらに続くと思いますが、さらに目標高く挑戦してほしいと思います。

夏の貴重な経験「伝承遊び」

昨日4日(日)は、地域行事の「伝承遊び」もコミセンにて行われました。これは、青少年健全育成協議会の皆さんが中心となって、子供たちに昔から伝わる遊びを子供たちに伝授していただきました。内容は、水鉄砲・折り紙・ぴよんぴよんカエル跳ばし大会・折り紙・紙とんぼ・輪投げ・ビニール凧など、たくさん内容がありましたが、帯西の子供たちも楽しく参加していました。私も水鉄砲の様子を見ていましたが、水でずぶ濡れになりながらも「水が気持ちいいです!」と言いながらはしゃいでいました。地域の宝である子供たちを、家庭や学校だけでなく、地域においても“地域の子どもは地域で育てる”という考えの帯西のコミュニティーの素晴らしさを実感することができました。地域の方々、本当にありがとうございました。

